



日本GAP
No. 13

仙台支部報

IGAP-JAPAN SENDAI INFORMATION

頒価 無料 / 送料60円 (切手可)
○編集人：安藤澄雄
○発行人：笠原弘可 (仙台支部代表)
申込先 〒980 仙台市東10番丁1
国鉄アパート1-18

より素晴らしい

人生の ために

山形県新庄市 柴田文子

私は宇宙の学生

私が最近始めた「私流」の観念観察法を少し述べてみたいと思います。

まず自分自身を他の惑星からやって来た留学生、または地球よりも低レベルの惑星からやっとうと地球に進学することのできた宇宙の学生だと考えます (これは事実だと思えますが)。宇宙の学生である私はこの地球上でいろいろな体験をし、数多くのレッスンを積み重ね、この地球教室の卒業証書を獲得するために精一杯努力しなければなりません。

卒業証書には地球よりもはるかに進歩している素晴らしい惑星に行くためのパスポートがついています。この卒業証書を得るためには良い成績をとらなければならないのです。そして毎日毎日がテストの連続です。毎日のテストは似たような問題はあっても全く同じ問題は一つもありません。私はそのテストで毎日100点をとることを目標としてがんばります。その一日の自分の観念状態・行動のすべてをチェックして点数をつけるのです。

寝ずの番の採点者

自分自身に点数をつけるとい

うことは容易なことではありません。しかしそれによってより自分自身を客観的に見つめることができると思うのです。私に点数をつけてくれる採点者 (ほかならぬ自分自身なのですが) はいつも細心の注意を払って観念状態を見ていなければなりません。いつも冷静で厳しく、絶えず自分の観念に対し寝ずの番をしていなければならないのです。否定的な観念や消極的な観念を起こすと減点の対象になってしまいますのでいつも宇宙的な雄大な観念状態であるよう努力しなければなりません。

このような観念観察法を始めからまた日は浅いのですが、以前に比べて自分のマインドに振り回されることがだいぶ減ってきたように感じます。

信念と忍耐の教室

アダムスキー氏は、この地球も宇宙における一つの教室であると言っています。金星が愛を教える教室であるならば、この地球は信念と忍耐を教える教室であるのかもしれない。

私達はこの地球の泥沼のような環境の中で、信念の力・希望の力・絶対にあきらめない力を学ぶことができるでしょう。どのような環境の中にあっても本人の気持ちの持ち方と努力によってそこを天国に変えることもできると思います。自分の内部に存在している宇宙の意識・宇宙のパワーなる偉大な力をしっかりと認めたと上で、その力を日常生活の中で少しずつ応用していけば内部の力に対する信念はますます強くなるでしょう。

本当の幸福とは

最近、人間にとっての本当の幸福とは何かということを考えてみました。人間にとっての本

当の幸福とはいったい何でしょうか。人によって違った解答があると思いますが……。

人間にとっての本当の幸福とは、自分を創造し、そして存在せしめているこの宇宙の創造主すなわち宇宙のパワーに気がつき、自分の存在の目的を知り、その目的を遂行する方向に進むことではないかと思うのです。これはあくまでも私自身が感じたことなのですが。

知らせる運動、 の中で

私達はこの地球においてアダムスキー哲学を知ることができました。私達はそのアダムスキー哲学を実生活の中で応用し、より有意義ですばらしい人生を送るとともに久保田会長に協力し、一人でも多く、オープンマインドを持つ人々にアダムスキー哲学を知らせることを目的として生きていかなければならないと思うのです。それがひいてはスペース・プログラムに協力することにつながっていくでしょう。

私もこれから今まで以上にがんばっていきたいと思っています。

科学と動物の本能が一致

!!!! 驚くべき ビーパーの本能、!!!!

仙台市 佐藤喜代子

「『ダムを造るのに一番良い場所はどこだろう?』『ビーパーに聞いてみな。教えてくれるだろうよ』こんな会話を交わっていたのは米国中部のウィスコンシン州でダムの建設設計にたずさわっていた技術者たち。技術者たちは測量や計算を重ねたうえ、ここが最適でしかも実際的だと、ある地点にねらいをつけた。そしてその地点で、基礎工事のために土を掘っている

技術者達は、1世紀ほど前にビーパーたちが造ったダムの跡を発見した。時代を越えて人間の科学と動物の本能の結果が一致したというわけである。(AFP=共同)」

これはある日の新聞で見つけた記事で、たいへん新鮮な印象を受けましたので切り抜いて取っておいたものです。

それにしましてもビーパーがとっくの昔に造ったダムのあと

に、人間がまたそっくり同じものを造ろうとしているのを思う時、全ての動物に対する感慨を新たにしました。と同時に宇宙の法則に従って活動している野生の動物・植物にもっともって関心を持ち、学んでいきたい思いにかられます。

そしてまた、人間にも本来そなわっているべきはずの、宇宙の英知を実感してみたいものだなと思った次第です。

親の願い

初めに言いましたように、私は4人兄弟の二男として生まれましたが、母は私の出産のときだけ、今でいうミラクルワードを唱えていたようです。それは「神の子に仕えるような子が生まれるように」というような意味のことで、それを反復して思念していたらしいのです。

両親はある宗教を信奉していますが、私もその宗教の熱心な信者になることを両親は望みませんでした。小学生ころまでは、私は何の疑問も持つことなく、そのお題目、などを唱えていましたが、次第に疑問に思い始め、特に高校2年の時にGAPに入会してからは全くその宗教に反発し、そのことで両親とトラブルを起こしたこともしばしばでした。

母の変化

それでも私は自分でも不思議なくらいUFOや宇宙哲学にひ

出会いの中で

連載第2回

千葉県船橋市 山口緑

かれ、決してその衝動が治まらず、久保田先生にも、かなりな手紙を出しておりました。

そのうち、母が病気になるなり、父も日ごろの疲労のために時折寝込むことがありました。私は子ども心にも、何とかして勇気づけたり、アダムスキー哲学で何とかしてやりたいと思うようになってきました。

ある日、過労のために寝ていた母のまくら元に行き、昔のニューズレターを読んであげました。それは久保田先生が書かれたもので、「心の映画法」——今で言えばイメージ法の記事でしたが、これを読み進めると、母はみるみる元気を取り戻し、喜びで全身が躍動し始めたので

す。これには私も驚き、私がこのGAPに触れることができたのを大変うれしく思い、感謝しました。

このころから私の母はGAPファンになり、宇宙や生命についての話をよくするようになりました。そしてよく母が「おまえは幸せだね。久保田先生という立派な先生がいて、こんなにも手紙をくれるなんて、たいしたものだよ」と言いました。

私はここで、私たちの宇宙哲学を他の多くの人々に知らしめるためには、言葉よりもその哲学の地道な実践が、思いもよらぬほどの好結果をもたらし、それこそが知らせる運動、なのではないかと思い始めるようになりました。「絵にかいたボタモチ」ではなく、宇宙哲学を生活の中に応用し、行動で示すことが非常に重要であることを気づかされたのです。

自分を変える

私は幼いころから引っ込み思案で、人々の中にはいりこんでいくことが非常に苦手で、いつも自分の内向的な性格に思い悩んでいました。何とか明るく、朗らかになって、多くの人々の仲間入りをしたいと望み続けました。

高校2年生のころにGAPを知り、UFO問題や深遠なる宇宙問題に関心を寄せるようになって、外部に自分を表現しよう

という衝動が強く起こってきました。何とかして自分の知り得た素晴らしい宇宙哲学を他の人々に話したくてたまりませんでした。それと同時に、自分を明るく堂々とした性格に変化させるのだという強い衝動があり、知らず知らずのうちに少しずつ人々の仲間入りを果たすようになっていったのです。

本当の場所

大学2年のころに山形支部ができて、毎月の例会も細々ながら熱心な会員が集まりました。これも私の性格の変化に拍車をかけることになりました。自分が本当にいるべき本当の場所・本当の友だちと共にいるのだという気持ちで心が満たされました。

支部代表をやらせていただいたからは、ますます全国の人々と接する機会に恵まれ、昔の内向的な性格を完全に変化させることができました。GAPを知ることにより友だちを増やし、自分自身を変化させることができました。これは本当に素晴らしいことです。(つづく)

草原

***** 似たり寄ったり ***** 笠原弘可

私にはどういいうわけか子供がいる。妻も一人だけいる。この子供は私に似ずに、いたずらっ子である。きっと妻に似たのだと確信している。今も私の傍で障子紙を破って喜んでいる。妻が苦勞して張ったそれを、我が息子は生来の権利であるかのごとくに丹念に破いてくれる。以前は「こらこら破ってはダメであるぞい」と説教していた。息子は必ず「はい」と、天使のごとき声で返答する。それでいて1分もするとまた紙破り作業を開始する。私は「はい」と返事しているのに何故やめないのかと不思議に思う。腕組みして黙考する。なる程、1歳8カ月の息子は、また「いいえ」という言葉を知らないのだ。この言葉を教えれば私に似て頭の良い子だから「いいえ」と言って紙破りをするのだらう。まてよ、それでは依然として障子は破壊され続けることになる。／我が息子は実に元気に物を壊したり危ない所に登ったり、そこいら辺に小便を放つたりする。そのたびに私は、妻に似たのだと思うことにしている。先日、妻とその話をしたら、彼女は、私に似たのだと思っていたらしい。そうなるこの真相は二人の親に聞かねばならないが、二人共何かを恐れてまだ親には聞いていない／つまるところ、子供のころにやることは似たり寄ったりであろう。似たり寄つたりの子供が大人になってそれぞれ大変差のある性格を有するようになる。まったく不思議である。実に親の教育にかかっているのだらう。まあ障子くらいは大目に見て破かせてやろう。おーっと、今度は扇風機を倒したぞ。

日本GAP 仙台支部 月例研究会

- ◎日時/毎月第4日曜日
 - ◎会場/仙台市市民会館会議室
 - ◎内容/『宇宙哲学』講義録音テープを中心に、討論、テレパシー練習、etc
- ※本年9・10・11月の月例会は下記の通り変更されます。

9月-18日
10月-中止
11月-20日

後記
すがはGAPの人たちだ。イエスゆかりの地で義理と人情で固く結ばれるとは！ エッ、違うの？ 水が悪くて「下痢ラヤ湖」ですか。お疲れ様デシタ。(A)

編集

◎エルサレム旅行から帰ったばかりの清水氏(山形支部代表)に電話で感想を尋ねた。「ガリラヤ湖が忘れられません。みんな義理ラヤ湖と呼びました」。さ